

BR8-le 品番 700158 BR2131 FR LE

お客様へ お買い上げ有り難うございます。ご使用前にお読みのうえ、正しくお使いください。
本冊子は必ず保管してください。尚 説明図は、抽象化した共通図です。

安全に関するご注意

電球の交換・お手入れ

電球の交換について
電球は、器具表示のランプをご使用ください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因となることがあります。

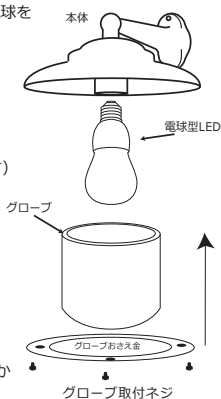
電球の交換方法

1. 電源を切り器具の温度が下がってから行って下さい。
やけどや感電の原因となることがあります。
2. グローブ取付ネジを外す。グローブを外す。
3. 電球を交換する。
4. 本体にグローブをグローブ取付ネジにて取付ける。
(本体の内側のパッキンにきちんとグローブを合わせます)
取付が不完全な場合、感電・落下の原因になります。
均等に締め付けられない場合、また過剰に締め付けた場合
ガラスが破損する場合があります。

お手入れについて

- ・明るく安全にご使用いただくために、定期的に清掃、点検してください。(6ヶ月に1回程度)
グローブ：石けん水にひたした布をよくしぼってふき取り
乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・本体、グリル：石けん水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン等揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色・破損の原因となります。
- ・照明器具の取り替え時期の目安は、通常の御使用状態において約8年から10年です。安全に使用するために、あ5年に1回程度の器具の点検および、6ヶ月に1回程度の清掃を行うようにして下さい。

▲ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



警告

- 器具を改造したり部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプは器具表示の物を使用してください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。工事店、販売店にご相談ください。
- 器具や電球（ランプ）を布や燃えやすいもので覆わないで下さい。火災、感電の原因となります。

注意

- 本体の取外しは、工事店、販売店に依頼してください。しろうと工事は、危険です。
- 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。ランプやその周辺が加熱しておりやけどの原因になります。
- 温度の高くなる物を置かないでください。器具の下にストーブ等を置かないでください。火災の原因となります。

仕様

防滴型

室内、もしくは軒下など、直接雨が当たらない場所でご使用ください。

定格

使用電圧	使用電球
AC 100V	電球型LED E26 12W(東芝製LDA12L)

照明器具 施工説明書

安全に関するご注意

器具の施工には、電気工士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。
工事店、電器店様へこの説明書は必ずお客様にお渡ください。

警告

- この器具は、防滴型照明器具です。下記の使用環境、条件では使用しないで下さい。
感電・火災・落下の原因となります。
- ・周囲温度が常時35℃以上の所。
- ・屋外の直接水のかかるところや、風呂場など湿気の多い(85%以上)所。
- ・振動・衝撃の激しい所や、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所。
- ・粉塵の多い所。
- 器具の施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると火災、感電、落下の原因となります。
- 凹凸のある面には、取付しないで下さい。火災・感電・漏電の原因となります。
- 垂直な壁面への正立方向の取付専用です。取付方向の指示をまもって下さい。
指示以外の取付をすると火災・落下してけがのおそれあり。

注意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用して下さい。火災・感電の原因になります。
- 温度の高くなる物の上に取付しないでください。ガス機器やその排気管の付近に取付しないでください。火災の原因になります。
- 調光機能の付いた電源器具には使用できません。(100%点灯でも使用不可)

取付方 壁面取付例

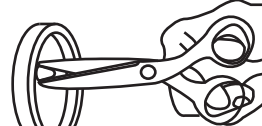
▲ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

取付け前の確認

電球の交換など器具の保守・点検の際にかかる力に耐えるよう、十分強度のある壁面に取付けてください。また取付ネジ用のアンカー等が必要になる場合は、壁面施工業者様にお問い合わせください。

▲ 注意 取付が不十分の場合雨水の浸入、落下の原因となります。また過度の締め付けは、ねじの破損の原因となります。電動ドライバーは、使用しないでください。

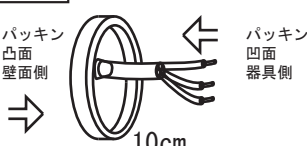
①ゴムパッキンの処理



パッキンの給電口をケーブルのサイズより若干小さめにカットします。
(ゴムパッキンと給電線を密着させるため)

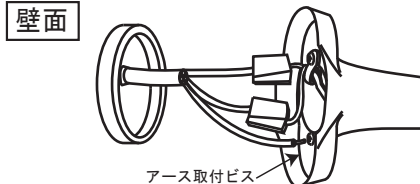
②給電線を通します。

壁面



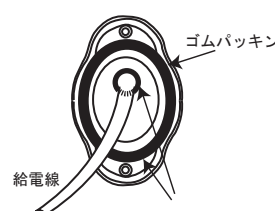
本体内部に給電線が入るスペースが限られており
給電線の長さは10cmまでとしてください。

③本体との接続。



給電線コネクタに、またアースをアース取付ビスに接続し余分な給電線コード、コネクタを本体内部に入れ込みます。配線、コネクタを圧迫、脱着がないよう慎重に作業してください。

④ゴムパッキンの収まり。



ゴムパッキンが本体の裏面に接する部分と給電口
周辺にシリコンコーキング(太線部分)を施して下さい

各部の名前と付属部品

▲ 注意 施工前に部品をご確認ください。

付属部品

本体部分

本体(真鍮製) = 1ヶ

グローブ = 1ヶ

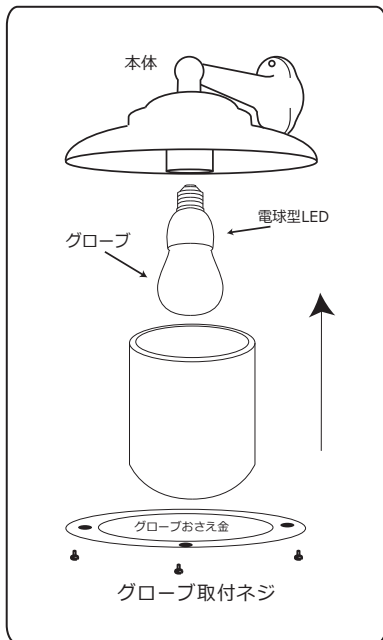
グローブおさえ金 = 1ヶ

グローブ取付ネジ = 3ヶ

電球型LED = 1ヶ

取付ネジ(真鍮製)

丸モクネジ3.8*38 = 2本



本体に電球型LED、グローブを取付け
グローブおさえ金をグローブ取付ネジをしても組立完了です。

取付方向の指示

垂直な壁面への正立方向での取付専用

